

01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03 官庁訪問体験記

|

04 就職活動体験記

|

05

文部科学省に 決めた理由

|

06 インタビュー

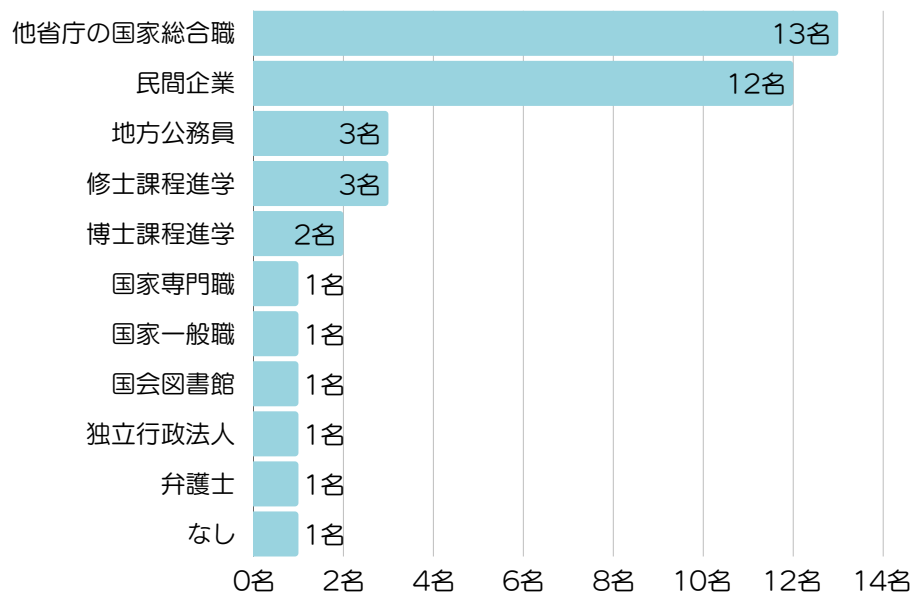
|

07 内定者プロフィール

内定者：24名

文科省総合職以外に検討した進路

(複数選択可)



迷った理由・決め手

(他府省庁の国家総合職)

・「1人1人のできること、可能性を広げたい」というのが大きな軸としてあり、アプローチの違いから他の省庁と迷っていましたが、官庁訪問を通して、人を行政目的にしてダイレクトに関わることができるのが文部科学省であると思い、決めました。

(他府省庁の国家総合職、民間企業)

・建築や文化、それらの人との繋がりに感銘を受けて建築を志したため、民間企業で建築のスペシャリストになるよりも、教育や文化を支える手段として建築を位置付ける文科省で広い視野を持ったゼネラリストになりたいと思ったから。

(修士課程進学)

・自分の専攻がとても好きだったので、官庁訪問しながらも大学院進学と迷っている状況だった。しかし、官庁訪問で思うような評価がもらえず採用されないかもという不安が大きくなったとき、自分が求める春からの居場所は文科省なのではないかと気づき、気持ちが固まった。

(民間企業)

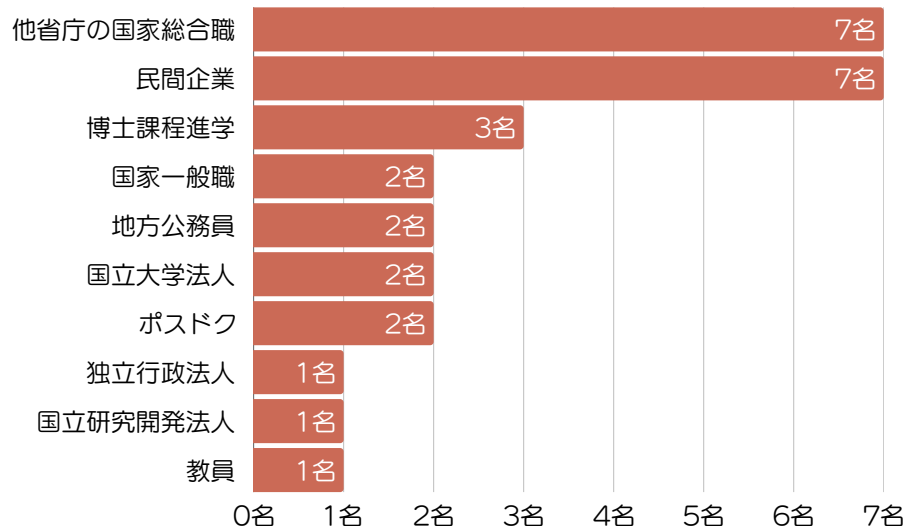
・民間企業はどうしても私利益を追求しなければならない場面があると考えられるが、公務員ではそれは許されないのだから純粋に公益のために働きやすいと思った。地方公務員と異なり国家公務員は日本全体を対象とした上で政策分野を絞れるのが良いと思った。厚労省や経産省とも迷ったが、国民の内面（モノやカネよりもヒト）に最も正面から向き合っているのは文科省だと思った。

技術系

内定者：13名

文科省総合職以外に検討した進路

(複数選択可)



迷った理由・決め手

(他府省庁の国家総合職、民間企業、国立研究開発法人)

・産官学の官側でしかできないことがやりたいと思ったから、研究現場と行政の翻訳者として活躍したいと思ったから国家公務員に進路を決めた。科学技術の研究・開発・社会実装の全てに貢献したいと思ったから文部科学省を志望した。

(他府省庁の国家総合職)

・自分の専攻との親和性で迷った。最終的には、より幅広い分野に関わることができる文科省に魅力を感じ決定した。

(地方公務員、民間企業、国立大学法人)

・ずっと問題意識を持っていた教育分野に携われるからです。日本の教育はどう在るべきなのかを考えることに大きなやりがいを感じました。

(博士課程進学)

・博士課程で研究を続けるか、就職するかで悩みました。最終的に、より自分の経験と興味を活かせる環境を考えた結果、文科省を志望しました。

(地方公務員、国家一般職、教員)

・総合職で縁がなければ一般職でもう一度チャレンジするつもりでした。もともと教員に憧れて教育分野に関心を持っていたのですが、行政としてできる仕事の規模や文科省の所掌範囲の広さに魅かれて絞りました。

01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03 官庁訪問体験記

|

04 就職活動体験記

|

05 文部科学省に決めた理由

|

06

インタビュー

|

07 内定者プロフィール

地方大学出身

地方大学生の就職活動について、本省から遠いからこそ苦労やそれぞれの工夫について聞きました！

Q1 文部科学省の情報の収集方法と収集しにくかった情報は？

U.Y.さん

マイページを毎日更新するようにしていました。PCのタブにマイページを保存し、逐一確認していました。メルマガも見ていました。メルマガは楽しく読んでいましたが、イベント情報が下に掲載されているため、マイページを頻繁に更新する癖をつける前は、イベント情報を見落とすことがありました。あえて言うのであれば、月に1度くらいの頻度でイベント情報を送信していただければ、見落としにくくなると思います。

K.M.さん

九州にいるため、主な情報収集ツールはHPでした。他には、大学の公務研究セミナーに参加し、他省庁のパンフレットを見たり、お会いした職員の方と連絡したりすることで情報を収集していました。他にも、1on1ミーティングのような双方向でコミュニケーションが取れるイベントに参加し、そこでいただく職員の方のご連絡先を大切にしていました。オンラインで説明会に参加できるようになったことで、地方学生が国家公務員を目指すチャンスが増えたので、非常に良いことだと感じます。しかし、自分の大学のOBOGを探すことは、学生側が能動的にアプローチしないと難しいです。そのため、出身大学のOBOGとタイアップしたオンラインイベントなどが主催されていたらもっと助かったと思います。

K.T.さん

説明会が一番ありがたかったです。他に、関西圏の官公庁志望者が集まるコミュニティが開催している面接対策会に参加したことがあります。そこではスライドを用いた説明やグループディスカッションの練習などを行っていて、とても助けになりました。文化庁など、関西圏での対面のイベントをもっと増やして欲しかったです。文化庁でのイベントに1度だけ参加しましたが、職員の方とのコミュニケーションなどで感じるのがオンラインとは大きく異なっていました。



U.Y.さん

(修士卒、院卒区分、事務系)



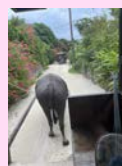
K.M.さん

(修士卒、院卒区分、事務系)



K.T.さん

(修士卒、院卒区分、技術系)



G.Y.さん

(修士卒、院卒区分、技術系)

Q2 地方の就活生ならではの苦労とそれを乗り越えた方法は？

U.Y.さん

金銭面や時間面も挙げられますが、やはりコミュニティを見つけづらく、情報収集を1人でしなければならない点は特に大変でした。しかし、文科省の職員さんは他の省庁に比べて接しやすく連絡も取りやすかったため、情報収集に困った際は遠慮なく職員の方を頼っていました。

K.M.さん

人脈作りが大きいです。職員の方との人脈に加え、志望者間の人脈もあります。職員の方との人脈はオンライン上の職員訪問や1on1ミーティングなどで見つけていくしかない部分があり、対面参加の学生に比べ親密な関係を築くことは難しいと感じていました。志望者間の人脈については、(私は受講生ではないですが)公務員講座の受講生や既に官庁訪問を経験した学生に自らアプローチしたりして、他の学生が官庁訪問に向けてどのように準備していたか参考にしており、助けられました。

K.T.さん

情報不足が大きいです。とにかく多くの説明会に参加して、文科省がどのようなものなのかを知るようにしました。テーマも様々なので、参加する中で概観をつかむように工夫しました。

G.Y.さん

移動する手間やそれによるスケジュール調整の必要があり、対面の説明会への参加が難しかったことが一番の障壁でした。同じ研究室の仲間と情報共有をし、ある程度融通を利かせてもらうよう工夫しました。

Q3 地方大学ならではの強みは？

U.Y.さん

オンラインを活用できることです。移動時間がないため、様々な省庁を効率よく見比べることが可能でした。

K.M.さん

「地方」が自分の個性となり、面接や官庁訪問で自分という人間を説明する上での1要素になり得ることです。通っていた高校で地域に根ざした活動をしていた話や、地元の名産品などのようなライトな話などがアイスブレイクの役割を果たし、地方の話をするだけで自分の緊張をほぐす1つの話題にできるのは地方の強みだと思います。

K.T.さん

正直に言うと利点はそこまでないと思います。ただ、自分の状況への焦りを持つ人は多いと思うので、そこから尻に火が付き頑張ることができる人もいるかもしれません。

G.Y.さん

自分の住んでいる場所について職員が詳しくないことも多いので、そこを広げることで話のネタになります。それをアイスブレイクとしてその後の話に移ることができます。

Q4 地方から見た文科行政への問題意識

U.Y.さん

都市と地方で得やすい情報の違いがあるといます。例えば、給付奨学金における給付水準について職員の方と議論した際に、当事者との距離感がわからないとおっしゃっていたことを受け、給付奨学金を受けている当事者は地方の方が多いのではないかと考えました。他にも、少人数学級についても地方の方が耳に入りやすいことがあると思います。

K.M.さん

小中学校の統廃合は自分の地域のみならず、他の地域の友達からも聞いており、関東のように狭い範囲内で学校が多くある環境とは全く異なると感じています。学校の設備投資についても、地方では都市に追いつけない部分があると感じており、このような実体験に基づいた話を評価されたと思います。

K.T.さん

教育において首都圏偏重はとても感じます。自分がいる大学も、関西ですが首都圏出身者が多いです。首都圏は学校や塾の選択肢が多く、地方とは教育の機会の量が異なると思っています。

G.Y.さん

周辺に他の大学がないため、大学同士での研究の連携が行いにくいと感じました。私の学部も他県の大学との共同研究を行っていましたが、オンラインでの交流や長距離の移動を強いられ、研究の効率が悪かったです。

Q5 地方大学の就活生へメッセージ！

U.Y.さん

大抵のイベントは対面とオンライン両方で実施してもらえるので、「地方だから不利」と感じなくて良いです。出身地を言い訳にはせず、そうした要素も自分の手札として、自分にできる目の前のことを精一杯頑張ってください！

K.M.さん

文科省を含め国家公務員を目指すということは、地方学生にとっては大きな勇気があることだと私は思っています。国家公務員にさほど強い関心がない段階でも、公務員講座やセミナーには入ってみて、自分の興味関心と向き合い、やりたいことが本当にそこにあるのかという可能性を見落とさずに、いざ挑戦したいと思えた段階に満ちて挑戦できるよう早く準備をするに越したことはありません。少し気になったタイミングでアクションを取ることができれば、自分が思い描いた善良な選択ができると思います。応援しています！

K.T.さん

不利だとは思いますが、以前と比べればオンラインがある現状は恵まれています。少ないとしても自分に与えられた機会を活かして頑張してほしいです！

G.Y.さん

就活を始める前は地方にすることが不利だと感じていましたが、実際は思ったほどディスアドバンテージはありませんでした。諦めずに自分にできることを最大限やれば、良い結果がついてくると思います！

学部卒（技術系）



技術系の大学区分での就職活動について、当時の状況や心境を振り返りながら聞きました！



K.W.さん
(学部卒、大学区分、技術系)

Q1 大学での学びについて

大学では作物学を専攻し、イネの生育に関する研究を行っています。教育学や国際交流にも関心があり、学内外で学びました。

Q2 就職活動中の周囲の環境は？

進路を決めかねていた際は、研究室の先輩に相談していました。特に他省庁の総合職で入省した先輩には、試験対策や説明会への参加に関する素朴な疑問を尋ねていました。

Q3 学部卒者ならではの不安・悩みについて

多くの友人とは異なる進路選択をすることへの不安は今もありますが、自分の理想とする進路を見つけ、その実現が叶ったのはありがたいことだと思っています。また、（自身の適性や能力、業務との兼ね合いなどもありますが）大学院に行くチャンスが残されていることは嬉しく思います。

Q4 文科省を専願したことのメリットとデメリット

官庁訪問期間の体力・精神面での負担が少なかったように思います（大学に戻って研究していたので結局は大変でしたが...）。他省庁との比較ができなかったことは少しデメリットに感じました。しかし、他の受験生から他省庁の官庁訪問の話聞くことができたので個人的には困りませんでした。

Q5 官庁訪問で感じたこと

技術系には修士卒、博士卒が多くいます。そのため、研究支援については彼らに任せておけばよいという浅はかな考えをもって官庁訪問に挑み、うまく質問に答えられないことがありました。その後の待ち時間に、博士卒の方に研究における現状の課題や解決策として文科省が講じている策について教えていただき、考えを深めることができました。経験が浅い分、自身の話ができないため不利だと思いますが、周囲の方に教えてもらうことができたのはありがたかったと感じています。

Q6 就職活動全体の振り返り

官庁訪問の準備はもっと早くしておけばよかったと反省しています。しかし、訪問期間中にも職員の方や受験生同士のディスカッションを通して、文科省に関する自身の知識を深め、自分の考えを持つことができるようになったと思っています。

Q7 学部卒の就活生に向けてのメッセージ！

同期に技術系の学部卒がいないため、年齢の近い後輩に会えるのが楽しみです！

院卒（事務系）

事務系の院卒区分での就職活動について、当時の状況や心境を振り返りながら聞きました！

Q1 大学・大学院での学びについて

O.M.さん

建築生産や材料についての研究をしていました。

H.H.さん

博物館学を専攻していました。具体的な研究テーマは開かれた博物館の運営です。

H.A.さん

大学では法律を専攻していました。社会学系統の中で法律を学ぶカリキュラムで、実社会での法律の機能に関心を持っていました。その点が大学院進学のかっけにもなったと思います。

M.I.さん

私が所属する大学院は公共政策大学院のため、一般的には公共政策学とそれに隣接する学習をしています。具体的な研究テーマは、修士1年次は家族政策（少子化対策）について共同研究し、修士2年次ではEBPMとデザイン思考について個人研究を進めています。

Q2 就職活動中の周囲の環境は？

O.M.さん

学内の公務員講座の先生方に何度も面談をしていただいていた。

H.H.さん

大学院に進学した分、公務員就活においては大卒で入省した学部時代の同期の話を聞けるのが良かったです。研究の大変さは院の同期に共有して、相談する人を分けることで頭を切り替えました。

H.A.さん

私は周囲の尊敬できる方に全力で頼っていました。学部時代の友人が数名国家総合職として働いているので、試験対策や官庁訪問について聞いてみたり、訪問カードを添削してもらったりと、可能な限り力を借りていました。話を聞かたびに、霞ヶ関で働きたいという思いを強くしたことを覚えています。

M.I.さん

教授に模擬面接や添削をお願いしたり、大学院の先輩から教材・資料をいただいたり、同級生と一緒に勉強したりなど、ありがたいことに頼れる環境に身を置いていたので心強かったです。



O.M. さん
(修士卒、院卒区分、事務系)



H.H. さん
(修士卒、院卒区分、事務系)



H.A. さん
(修士卒、院卒区分、事務系)



M.I. さん
(修士卒、院卒区分、事務系)

Q3 院卒者ならではの不安・悩みについて

O.M.さん

理系学部なので院進する同級生も多く、その点の悩みはありませんでした。しかし学科内で公務員を目指す方が少なかったため、困っていることや分からないことは公務員講座の先生方との面談で解決するようにしていました。

H.H.さん

家族からの理解が得られないことが悩みでした。学部時代には既に公務員試験に受かっていたので、何のために院に行くのか何度も反対されました。社会に出るにあたってのバリューを整理して説得したほか、遠方の大学院に行くことで、家族や既に働いている友人と顔を合わせなくていいよう物理的にも工夫しました。

H.A.さん

まだ社会に出られないという不安は少しありました。その中で院進するという決断ができたのは、自分が国家公務員になって貢献したいという思いを持ち続けられたからだと思います。学部時代も国家公務員を目指していたのですが、残念ながらご縁がありませんでした。しかしその時出会った職員さん(他省庁ですが)、訪れた合同庁舎、経験したこと全てが自分に刺激を与えていたと思います。当然、両親をはじめとした周りの大人にも相談はしましたし、奮い立たせてもらうこともありました。今では院進に踏み出せたことが自分を強くしたと振り返ることができます。

M.I.さん

「院進する人が少ない中で、院進をしてから就活をする」という点については全く不安・悩みはなかったです。文科省を目指す上での不安・悩みもあまりなく、むしろ文科省に入省して何を実現したいのか、何を課題と感じているのかなどを説得的かつ論理的に説明（言語化）することに苦労しました。そのために、できるだけ文科省の職員の方や大学院の友人、教授、他の文科省志望者の方々に壁打ちして何度もブラッシュアップしました。

Q4 官庁訪問で役立ったこと・不利だと感じたこと

H.H.さん

学部生時代には人と差別化できるものがありました。大学院に行って一つ専門分野を持てたことで自分の色ができ、軸を持って話ができたと感じます。

H.A.さん

大学院で議論や発表などをこなしていた分、官庁訪問での面接の機会やグループディスカッションに自然体で臨めたことです。落ち着いて話し、議論を整理できる姿をアピールしようと努めていました。文科省の就活で不利だと感じたことはありません。むしろ文科省の側から、研究や授業に対してたくさんの配慮をいただけたことを覚えています。

M.I.さん

事務系院卒であることが活きた点として、約1年没頭してきた研究があります。官庁訪問で職員の方とお話する際に、自分の研究をもとに問題意識を語ることができました。不利だと感じたことは全くありません。「不利に感じる」というのは、「他者と比べた際に自身にディスアドバンテージがある」ということだと思うのですが、私は官庁訪問に臨む上で「他者とは比較しない、自分と向き合う、職員の方と向き合う」ということにただただ集中するよう意識していました。

Q5 就職活動全体の振り返り

O.M.さん

将来のことや今後やってみたいことなど、様々なことを沢山考えながら就職活動に臨んでいた点は良かったと思っています。

H.H.さん

公務員は人付き合いの世界だと思うので、採用活動を通じて会った人は個人的にエクセルでまとめました。入省後につなげる意味でもご縁を大切にしすぎることはないと思います。

H.A.さん

無理なスケジュールを組んだ時もありましたが、幅広く就活をして、色々な話を聞いたことはやってよかったと思いました。文科省以外の就活の経験から活かせることはたくさんあると思います。例えば、金融機関で学んだお金の流れ、他省庁で学んだ相互調整や自治体との連携、などです。後悔としては、当時興味がなかった省庁のお話も聞いてみたかったと思いました。

M.I.さん

他の府省庁の説明会に参加したことで、物事を考える際の引き出しが増えたことと、イベント（特にディスカッション形式や懇談会など）に参加し、自分の考えや思いをアウトプットする練習ができたことが良かったと思います。もっとこうしておけばよかったと思うことは特にありません。

Q6 大学院生の就活生に向けてのメッセージ！

O.M.さん

院生は学業に加えて研究もあり大変だと思いますが、皆さまの就職活動が健康に、且つご自身の納得のいく形で実を結びますよう心より応援しております！

H.H.さん

大学院と就活との両立は結構大変でした。しかし、そのタフさも皆さんの強みだと思うので、頑張ってください！

H.A.さん

院卒になる方は就職活動だけでなく、研究やアルバイト等もお忙しいかと思います。体調は最優先ですが、その中で少し頑張ってみると違った景色を見られると思います。全てに後悔のないように、頑張ってください！

M.I.さん

大学院での時間は、自分の問題意識や関心事項に基づいて思い切り研究・勉強できる貴重な時間だと思います。研究と就活の両立で苦労することもあるかもしれませんが、文科省の職員の方は相談するといつも寄り添ってくださり、私自身も就活に臨む上で本当に心の支えになっていました。悩みは一人で抱えず、人とのご縁を大切に、大学院生活も就活も「楽しむ」ことを意識してみてください！皆さんにとって最適な結果となるよう、心より応援しております！

博士課程

博士課程進学者の就職活動について、実際の体験談を踏まえながらお聞きしました！

Q1 専門分野や研究テーマは？

K.Y.さん

専門分野は原子力で、炉工学の内の原子力プラントの炉の材料の研究をしています。核融合炉という、より先端の原子力発電で使われる、液体金属冷却材の腐食に耐えうる構造材料の開発というテーマで現在は研究を行っています。主に電子顕微鏡を使ってマイクロスケール、ナノスケールのようなすごく小さな領域で、その材料の分析をして研究をしているという形になります。

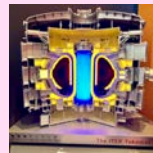
I.K.さん

私の専門は人間医工学ですね。医学工学の融合分野で、装着型ロボットによるリハビリテーション支援の研究をしています。

Q2 国家公務員を目指す中での情報収集について

K.Y.さん

4つあります。
1つ目が説明会の参加です。省庁のカルチャーや政策、職員の雰囲気みたいなところを見ていました。
2つ目が内定者パンフレットです。特に官庁訪問直前や訪問中に、参考にさせてもらいました。官庁訪問の流れについての説明の他に、内定者プロフィールをよく読みました。この省庁はどんな人を求めているのかを知るために、プロフィールなどをしっかり見ました。
3つ目が、ネットにある、官庁訪問をした人のブログも参考にしました。かなり細かくリアルな記述もあったりするので、参考にしていました。
4つ目が、同じ大学の国家公務員試験受験者とサークルみたいな集まりを作って、ほかの省庁も含めて情報を共有して対策をしていました。説明会の時に偶然同じ大学の人と知り合って、試験対策や官庁訪問対策に誘ってもらいました。模擬面接をしたり、訪問票をお互いに添削したりしたので、官庁訪問の対策としてはとても有効だったと思っています。



K.Y.さん
(博士卒、院卒区分、技術系)



I.K.さん
(修士卒、院卒区分、技術系)

I.K.さん

私は居住地が東京から遠かったので、基本的にはオンラインで得られる情報が中心でした。説明会では毎回異なる職員さんが来るので、様々なお話を聞けます。さらに参加人数もそれほど多くないため、質問も多くできます。しかし、説明会の参加者は現役の受験者が大半なので、官庁訪問の質問は人事試験が終わった後にならないと増えないんですよ。だから、官庁訪問の情報を説明会で得られる機会はちょっと短いのがネックでしたね。

もう1つ大事だったのが、職員訪問ですね。私はオンラインの説明会では官庁訪問について形式的な質問しかできていませんでした。そのため、職員訪問ではより実践的な、職員の方がする質問に自分が答える練習ができた、官庁訪問の雰囲気についてなどを深く知れたりできたので、よかったかなと思います。

Q3 博士課程の就職活動について

K.Y.さん

博士に行ったときは研究者になろうと考えていました。しかし、研究をする中で、研究者として・技術者としてやっていくだけでは、技術の社会実装はうまくいかず、むしろ産官学連携が大事だと思ったので、公務員などを考えるようになりました。私は産官学全て大事だと思ったので、全部選択肢から外さずに情報収集はしていました。官は公務員試験の選考を進めましたし、学（アカデミア）は指導教員や学会、国立研究開発法人や他の大学のポストについて情報収集していました。産（民間）は、コンサルやシンクタンクなど、行政の案件をよくやるようなコンサルとか、重工メーカーなどを中心に選考を進めてきたという感じでしたね。
個人的には官の分野の博士人材が一番希少価値が高いと思っています。毎年、産と学には専門性を持つ人間が一定の数入ると思いますが、官には少ないと感じているし、自分自身国側としてやりたいことがあったので、産官学の歯車を回す1人として働きたい、官側をキャリアとして選びたいというのを最終的に判断しました。

I.K.さん

私は修士の時も少し就活をしていました。その時に国や国際的な領域などの、より広範囲で活躍するような人間になりたいと考えたこともあって、博士に進むことに決めました。博士課程進学後、1年時に文科省のインターンに参加し、2年時に公務員試験を受け、3年時に官庁訪問にいったので、博士全体を通して就活を進めていました。

ただ、民間の就活も並行して、私はメーカーの方の研究開発を受けていたのですが、自分の分野が複合的な分野なためマッチングが上手くいかず、悩みを抱えていました。結果的には内々定がありつつも、文科省の官庁訪問を通して、博士課程を自分が一番活かせると思う文科省に進むことにしました。

Q4 文科省での業務における 博士課程進学者の強みとは？

K.Y.さん

文部科学省の関連部分だと、やはり科学技術分野で活きると思います。博士課程の強みとして、まず研究面についてがあります。研究者としてやるべきことを一通り経験している人が多いと思います。例えば私は国際学会・国内学会の発表や論文執筆、国内外の研究所の出張、研究予算の獲得など、そういう研究者がやるようなことも、博士課程で経験しました。研究者や研究現場について詳しく知っていることが博士課程を通った者の強みです。その知見が科学技術の進歩に役立つと私は考えています。

あと、ざっくり国家公務員として考えると、博士課程の強みは、強靱なメンタルを持っている人が多いことでもあると思います。コツコツ実験や作業に取り組み、論文に落としこみ、指導教員と難しい議論を重ねたりしてきたので、タフさやストレス耐性の高さがあると思います。身体的な体力と精神的な体力がしっかりついている人が多いと思っていて、それが国家公務員として働く上でも非常に生きてくるのかなと思います。

I.K.さん

一般的な博士課程での就活では専門知識の深さが求められると思いますが、文科省だとそれは直接的には関係しません。論文執筆等を通して身に着けたくじけずに挑戦する姿勢や、先生とのミーティングを通して自分の研究の国際的な強みを探す経験などが、今後の業務の役に立つかもしれないと思います。あとは、行政と研究者との橋渡しになる際に、博士というものに理解が深く、専門性が高い方が、相互理解が進むのではないかと考えています。

Q5 官庁訪問で印象に残ったこと

K.Y.さん

なぜ博士課程を出て国家公務員として働きたいのかはよく深堀りされました。各省庁で色が違いましたが、省の中で技術者として働いてほしいとよく言われました。ただ文科省ではそうではなく、研究分野を直接活かす分野だけではなく、広い視野や知見で様々な研究分野に取り組むことができると感じました。あと、官庁訪問の面接官の雰囲気から、文科省は来た人の良さを見つけて成長させたいように感じました。他の省庁はどちらかという自分を採用することの省庁にとってのメリットをアピールすることを求められましたが、文科省は職員側から私の長所を引き出してくれるという違いがありました。

I.K.さん

周囲の多くは研究者になるし、私も研究者としての就活をしていく中で、博士の就職はよほど専門性がマッチしていない限り修士と比べてメリットが少ないと感じることがありました。ただ、官庁訪問はこちらが色々学ぶことができる場でもあって、人材育成や人材活用を踏まえた、博士の様々な進路、活用方法について議論しているのを知って、日本で博士課程への認識が硬直化している状況を変えたいと思うようになりましたね。

Q6 博士課程の就活生に向けての メッセージ！

K.Y.さん

博士課程は必ずしも研究者養成機関あるのみではないといえますか。博士課程だから研究者、技術者にならなければいけないわけでもないと思っています。自分の働きたいキャリアをしっかり考えて選んでもらったらいのかなと思います。それが文科省としてできること、やりたいことであれば、ぜひ文科省に官庁訪問を経て入ってきてほしいなという気持ちです！

I.K.さん

博士に進んだので専門性を高め、その分野の研究をしたいというのもいいと思います。しかし、今の研究をずっと続けられることもあまりなく、たいていはそれをさらに発展させないといけません。その発展とか自分の専門性を活かすものの1つに、研究ではない、公務員なりコンサルなり、別の仕事も入るよという視野の広さを持ってほしいなと思っています。

早期入省

早期入省（4月を待たずに入省すること、既卒者が対象）の方々に、業務などについてのお話をお聞きしました！

Q1 早期入省を希望した理由は？

A.W.さん

私は文科省を目標に定めた時期が大学3年の夏から秋と遅めでした。試験合格が4年の秋だったため、早く文科省で働くことが念願でした。周りが働いていることへの焦りもありました。

H.H.さん

私は大学4年の3月の試験で合格しました。4年9月から海外の大学院に1年間行って、帰国後に入省を考えていました。今年の早期入省者（4人）は例年よりも多いと驚かれました。

M.H.さん

博士の学位を取ろうとしていた大学在学中は、公務員を考えていませんでした。その後民間に勤め、転職のタイミングで早期入省を希望しました。早期入省者には民間企業から転職する人も多いと感じます。

Q2 早期入省ならではのことは？

A.W.さん

良い点は、同時に入省した人が少ない分、同期の結束力が強まった点です。ランチで集まったりもして、良い関係を築けました。周囲に面倒を見てもらっている実感もあります。悪い点は、完全にOJTな点です。隣の先輩に教わりながら業務を行っています。

私は周りとは比べがちな性格ですが、今は自分のペースで仕事できています。積極的に学ぶ姿勢が大切だと感じます。

H.H.さん

A.W.さんとはほぼ同じです。早期入省者は珍しいので、結束力が強くなります。OJTで大変な点も同感です。人数が少ないため、しっかりとした研修の機会を個別で用意することが難しいのかもしれませんが。電話のかけ方やメールの送り方など、官僚としての仕事以外の面でも分からないことが多く、学生から社会人になることの難しさを実感しています。ただ、業務の中で成長を感じることができていて、入省直後よりも仕事が楽しいです。



A.W.. さん
(学部卒、大卒区分、事務系)



H.H. さん
(修士卒、院卒区分、事務系)



M.H. さん
(博士卒、院卒区分、技術系)

M.H.さん

良い点は正直それほどありません。大変なことについては同感で、研修があまり多くないです。今は、4月入省の人たちと一緒に働けるようになることが楽しみです。同期とコミュニケーションを取ることで、徐々に緊張感をほぐしていくことができると思うので。同期がいれば仕事のときもその人を介したコミュニケーションを取れますが、同期が少ない現在は少し大変です。

民間を経験した分、文化組織としての成り立ちの違いを感じています。しかしようやく慣れてきた実感が出はじめ、早期入省して環境を早く知ることができたメリットも感じます。

Q3 早期入省志望者へのメッセージ！

A.W.さん

早期入省は個々人の事情に合わせて選べるため、自分のペースで考えて選んでください。早期入省か否かに関わらず、自分の考えや興味を広げるために職員の方に話を聞くことが大切です。文科省に限らず、周りの人との関係を築き、誰かのために動き、自分を客観的に見ることが、公務員として大事なことだと思います！

H.H.さん

早期入省を志望する時点である種特殊なルートですが、文科省はそんな人も受け入れてくれる環境なので、安心して進んでください。楽しさも厳しさも両方ある職場なので、焦らずに決めてほしいです。全体的には、1点突破の能力ではなく、専門に縛られない総合力を持った人にとっては最高の職場であると思います！

M.H.さん

文科省には様々な経歴の人がいるため、早期入省でも相談できる人が必ずいます。周りの人が研究者や博士学生のためなどに真剣に取り組んでいるため、私もサポーターとして、その環境で楽しくやりがいを持って仕事できます！

文化庁&スポーツ庁志望者

文化庁とスポーツ庁を主に志望している内定者の方々に、志望理由や将来の展望などを聞きました！

Q1 文化・スポーツ分野に 関心を持ったきっかけは？

文化

K.A.さん

文化行政に関心を持ったのは、考古学のサークルの調査活動で京都の山間部の町を訪れた経験がきっかけです。祭礼や伝承といった地域文化について生き生きと語る地元の方々と交流する中で、地域の誇りとなって活力を与える地域固有の文化に魅力を感じました。一方で、人口減少や地域コミュニティの希薄化から、それらが失われる現状も実感しました。そのため、地域の「人」や「場」にアプローチすることで地域文化の保全・継承に携わりたいと考えるようになりました。

S.M.さん

幼い頃からピアノやバレエ、ミュージカルをやっていた経験からです。

M.M.さん

私もクラシックバレエを幼い頃から踊っていました。プロとしてキャリアを歩んでいる友人や先輩の話を聞く中で、芸術家が日本で生活していくことの難しさを知ったことがきっかけです。

スポーツ

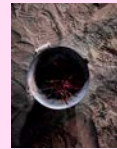
M.K.さん

小学生から高校生まで野球をしていたことからです。



K.A.さん

(学部卒、大卒区分、事務系)



S.K.さん

(博士卒、院卒区分、技術系)



S.M.さん

(学部卒、大卒区分、事務系)



M.M.さん

(修士卒、院卒区分、技術系)



M.K.さん

(学部卒、大卒区分、事務系)

S.K.さん

技術系ということもあり、サブ的な志望動機として文化への関心を伝えました。

S.M.さん

音楽・バレエ業界や博物館などが経済的に困窮している状態を改善したいと思いました。文化庁ならば、助成金事業・文化財の活用・コンテンツ産業支援などを通じて多様な文化・芸術団体の活動を支援できると考えました。また、小中学生の頃、周囲の友人達が学業を理由に部活動や習い事を早く辞めてしまうことを目にし、文化芸術の裾野が広がらない理由の一部がそこにあると感じました。そのため、学業以外にも学生の多様な活動を評価する成績・入試制度の拡充に取り組みたいと思うようになりました。

M.M.さん

実体験を通じて現状を自ら分析し、スポーツ分野専攻で得た知識を踏まえて考えました。

スポーツ

M.K.さん

「成長」や、「人とのつながり」をキーワードに、ツールとしてスポーツを挙げたり教育と絡めたりしました。多様なスポーツの効用の、特にどこが重視で何が必要なのか考えました。

Q2 それらのきっかけを、どう 志望動機に落とし込みましたか？

文化

K.A.さん

上記の経験から、人口減少が前提となる地域社会では、学校と地域が連携して担い手を育成することと、地域資源を活かして人々のシビックプライドを醸成し、社会参画を促進することが必要だという問題意識を持ちました。そのため、地域の学習と協働の拠点となる文教施設の機能向上や連携促進による人材育成、地域資源を通じた地域コミュニティの形成に携わることで、多様な文化の継承を助けたいと考え、国家公務員を志望しました。

Q3 官庁訪問を通して文化・スポーツ行政に対するイメージは変わりましたか？

文化

M.M.さん

官庁訪問で芸術分野に関心を持っている先輩職員とお話しできる機会がありました。私がやりたいことと重なる部分が多く、実際に文化行政でできることなどを明確に知ることができた記憶があります。

Q4 行政官として、今後、文化・スポーツ行政にどのように携わっていきたいですか。

文化

K.A.さん

文教施設や地域の連携促進を通じて、公教育の場で地域資源をより活用できる環境を整えたいと考えています。また、博物館の機能向上に向けて、地域の各セクターとの関係強化の支援や、学芸員制度の見直しにも取り組みたいと思います。教育と地域資源の活用による地域活性化を制度面から支え、豊かな地域文化の発展に寄与したいです。

S.M.さん

教育と文化の両面から文化芸術振興に取り組みたいです。教育では、生徒の主体的な学びや多様な活動を促進するような教育制度を設計することにより、子ども達の課外活動を阻まない環境を作りたいです。文化では、助成金事業・文化財の活用・コンテンツ産業支援などを通じて多様な文化・芸術団体の活動の支援をしていきたいです。

M.M.さん

「身近に芸術を」を軸にしていきたいです。

スポーツ

M.K.さん

誰もがスポーツに参加できる環境が整うような仕組み作りやスポーツ産業の発展に取り組みたいです。

Q5 文化・スポーツ分野の志望者へのメッセージ！

文化

K.A.さん

この冊子の読者の皆さんは、国家公務員や文科省に興味があると思いますが、ぜひ他の選択肢も検討してみてください。文化・スポーツ分野に限らず、文科省で皆さんがやりたいこと、関心があることには、文科省以外にも様々な立場の人が関わっているはずです。説明会などに参加して色々な仕事を知り、自分のやりたいことにどの立場から、どう取り組みたいかを見つめ直すことは、とても大切だと思います。

十分に吟味した上で文科省を目指すなら、その経験や思いが志望動機の説得力を高め、自信を持って官庁訪問に挑む力になると思います。就活は長期戦で、不安も多いと思いますが、体調に気をつけて頑張ってください。応援しています！

S.K.さん

私もまだ入省していない身なので全く勝手がわかりませんが、文化庁の管轄している仕事はどれも文化を守る、発展させていく、という重要な役割を担っているのではと思います。技術系なのでどれだけ文化に関われるかはわかりませんが、楽しみにしています。文科省を目指す皆さまも、色々な分野に興味を持つ人、1つの分野への情熱を持つ人など、様々な方がいらっしゃると思います。どんな人でも活躍できる…のかはまだ入省していないのでよくわかりませんが、今年も色々な志望動機の人を採用されているということで、多様性のある職場なのではと期待に胸を膨らませています。皆さまとお会いできるのを楽しみにしています！

M.M.さん

自分からやってみたい、文化分野に関わりたいと伝え続けることが大事です！最後まで全力で駆け抜けてください！

M.K.さん

スポーツの力はこれからもっと社会から求められていくと思います。是非自分が思うスポーツの力を信じてぶつけてみてください！

01 内定者統計

|

02 総合職試験情報

|

03 官庁訪問体験記

|

04 就職活動体験記

|

05 文部科学省に決めた理由

|

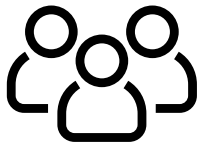
06 インタビュー

|

07

内定者 プロフィール

イニシャル



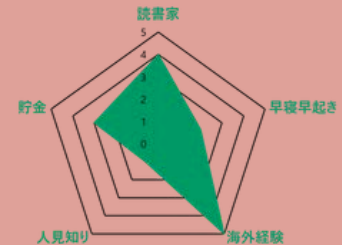
1. 事務系／技術系・区分（卒）
2. 大学・学部
3. 併願先（府省庁・民間）
4. 現在の関心分野
5. サークル・趣味・ボランティア経験

研究テーマ・専門分野

文科省に抱いているイメージ
内々定が決まった時の感想
内々定後なにをしていたか
今後の意気込み

文科省を目指す方への メッセージ

自分を表す
レーダーチャート（例）



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・農業科学・水産区分（院卒）
2. 法政大学理工学研究科生命機能学専攻
3. 食品業界
4. 産学官連携・研究者支援・高等教育関連
5. 動画制作・謎解き

A. M.

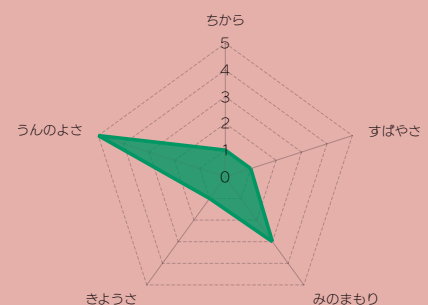
研究テーマ・専門分野

細菌の分泌タンパク質の機能解析・分子生物学・農学

内々定後なにをしていたか
ひたすら修論研究を進めていま
した。

文科省を目指す方への メッセージ

大変なことは多いと思いますが、心
身ともに健康を保ちつつ頑張ってく
ださい！応援しています！



07 内定者プロフィール

1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・教養区分（大卒）
- 2.東京大学教育学部教育実践・政策学コース
- 3.教育業界
- 4.社会教育・教育格差
- 5.水泳・編み物

A. W.

研究テーマ・専門分野

社会教育・生涯教育

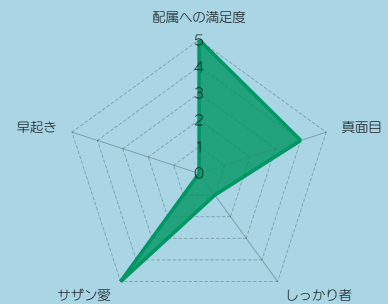
内々定が決まった時の感想

お世話になっていた職員の方が一緒に喜んでくださって、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

文科省を目指す方への

メッセージ

試験がうまくいかなかったり、周りの人と比べて落ち込んだりすることもあると思いますが、そんな時こそ文科省の職員と会って、お話してみてください。軸を持ちながら、自分のペースで進めば大丈夫です！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・教養区分（大卒）
- 2.京都大学文学部人文学科国語国文学専修
- 3.国交省・厚労省・県庁・市役所
- 4.社会教育施設の活用・地方の教育格差の解消
- 5.文芸サークル・読書・サッカー

I. M.

研究テーマ・専門分野

歌枕「名取川」の描写の変遷

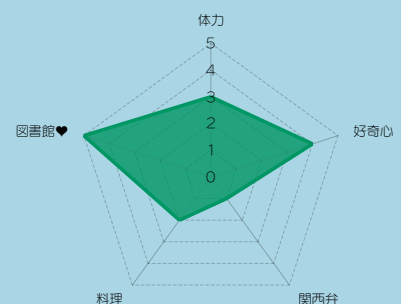
内々定が決まった時の感想

やっと就活が一段落ついた！という喜びと、選んでいたことに恥じない働きをできるだろうか…という不安が同時にありました！

文科省を目指す方への

メッセージ

文科行政について知れば知るほど、自分のやりたいことも増えてくると思います！ぜひ自分ならではの志を持って、新しい世界に挑戦してください！



07
内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・法務区分（大卒）
2. 一橋大学法学部
3. 法曹
4. 学習指導要領
5. スポーツ観戦・旅行

I. R.

研究テーマ・専門分野

法律

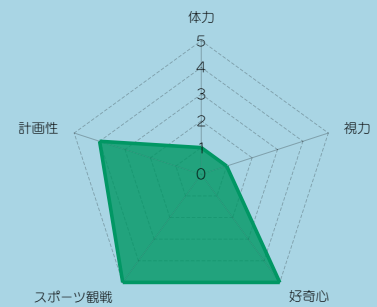
今後の意気込み

まだ私自身どのような形で組織に貢献できるのかは分かりませんが、日々学び続けることを大切にしたいと思えます！

文科省を目指す方への

メッセージ

一緒に働ける日を心待ちにしております。



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・デジタル区分（院卒）
2. 筑波大学大学院理工情報生命学術院
3. 厚生労働省・科学警察研究所・メーカー研究職
4. 若手研究者支援・宇宙開発
5. ロボット・ロケット

I. K.

研究テーマ・専門分野

人専門は人間医工学です。

リハビリテーション支援のためのロボットの研究開発を博士課程まで行っていました。

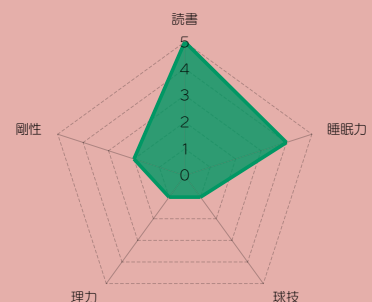
内々定が決まった時の感想

既合格者向け官庁訪問では良い返事がもらえませんでした。が、その後の通常期では内々定をいただけたので喜びもひとしおでした。

文科省を目指す方への

メッセージ

自分は研究職と迷いましたが、文科省でのインターンシップや直接話せるイベントなどに参加したことが決めてになりました。興味のある方はぜひ参加してみてください。



07
内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・法律区分（大卒）
2. 同志社大学法学部法律学科
3. コンサル業界
4. 教育全般・科学技術
5. 散歩

I. S.

研究テーマ・専門分野

行政法

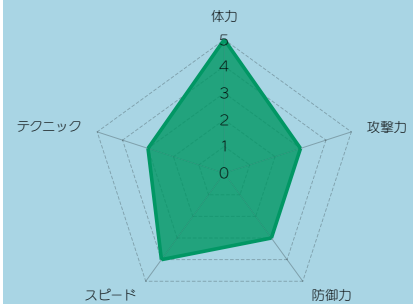
内々定が決まった時の感想

官庁訪問は終始楽しく、あっという間で、内々定の達成感はかなり薄かったのですが、周囲の祝福でようやく実感が湧きました。

文科省を目指す方への

メッセージ

私が思う文科省の魅力は、特色の異なる4分野を所掌している点です。長い職業人生をかけても味わい切れない多くのやりがいがあると思っています。それでいて、どの分野も前向きで明るい。ぜひ文科省で一緒に働きましょう！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・行政区分（院卒）
2. 東北大学公共政策大学院
3. 総務省・教育業界
4. 奨学金制度・著作権・文化財保護・部活動改革
5. 陸上競技部

U. Y.

研究テーマ・専門分野

選挙管理行政・古代オリエント史文献学

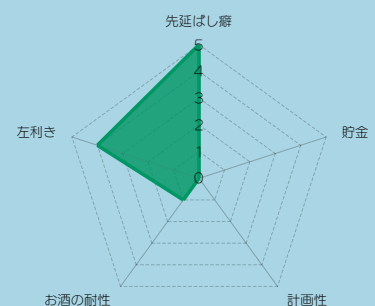
今後の意気込み

文部科学行政に自分が携わることに対する責任と不安をひしひしと感じています。この初心を忘れることなく、向き合い続けていきたいなと思います。

文科省を目指す方への

メッセージ

よく考えて、よく相談して、自分と向き合い続けた先で、文科省に入れることになった時は、よろしくお願いします。ささやかながら、応援しています。



07 内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 慶應義塾大学理工学部管理工学科
3. 厚労省・内閣府・コンサル
4. 地域学校協働
5. 地元小中学校PTA・子供職業体験イベント

O. K.

研究テーマ・専門分野

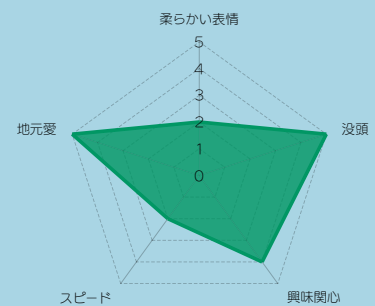
オペレーションズリサーチ

文科省に抱いている イメージ

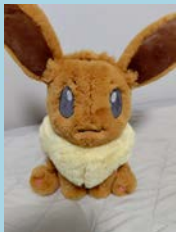
「人の内面」に直接アプローチできる唯一の省庁！

文科省を目指す方への メッセージ

色々な大人があなたの今後について親身に話をしてくれる貴重な機会、就活を楽しんでください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 東京大学法学部
3. なし
4. インクルーシブ教育
5. ポケモンサークル

O. S.

研究テーマ・専門分野

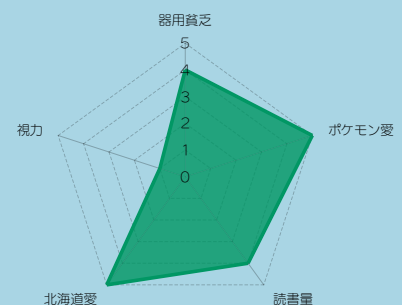
租税法や商法など経済関係の法律

今後の意気込み

年を取って文字を読むのが辛くなる前にできるだけたくさんの本を読みたい＆読書を布教したい。そのころには技術が発達して目が悪くなってないかもしれないけど。

文科省を目指す方への メッセージ

あなたが今目指しているものはあなたが真にやりたいことと合っていますか？なんとなくで選んでいませんか？「後悔しない選択を」ではなく、自分の選択に責任を持って「後悔できる選択を」してください。その先の文科省で出会うことを楽しみにしております。



07
内定者プロフィール

1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・工学区分（大卒）
- 2.立命館大学理工学研究科
- 3.建築業界・インフラ業界
- 4.文教施設
- 5.ツリーハウスの制作を行うサークル

O. M.

研究テーマ・専門分野

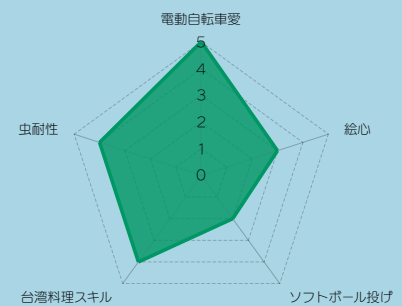
建築生産を専門としています。研究テーマは、文化財等の木材に対し高強度な新素材ポリウレアを塗装することで、構造性能を向上させる新たな補強方法の検討を行っていました。

内々定後なにをしていたか

官庁訪問の際、学生だからこそできることを大切にという助言をいただき、学業・遊び・睡眠の両立に励んでいました。

文科省を目指す方へのメッセージ

就職活動期間は、志望先の職員の方はもちろん、ご自身の周囲の方々も含め、ぜひさまざまな考え方や視点に触れる機会を楽しんでください！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.技術系・農業科学・水産区分（大卒）
- 2.岡山大学農学部総合農業科学科
- 3.国家一般職・地方公務員
- 4.高等学校の職業専門学科・理系の人材育成
- 5.旅行・読書/不登校支援のボランティア

K. W.

研究テーマ・専門分野

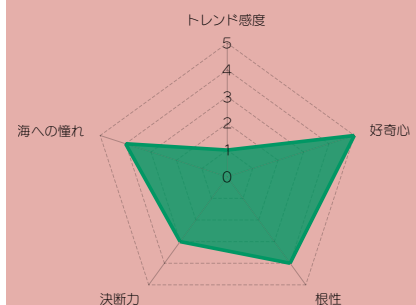
作物学を専攻しており、イネを研究対象としています。圃場でのデータ収集とAIを使ったデータ解析の対極的な2つの分野を融合させ、取り組んでいます。

内々定が決まった時の感想

自身の経験や考えを認めていただいたように感じ、素直に嬉しかったです。同時に今後のことを考え、身の引き締まる思いでした。

文科省を目指す方へのメッセージ

後悔のないよう、最後まで諦めずに挑戦してください。応援しています。



07
内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 東京大学法学部
3. 経済産業省
4. 社会に対する主体性と積極性の育成
5. 学園祭実行委員

K. K.

研究テーマ・専門分野

法学・政治学

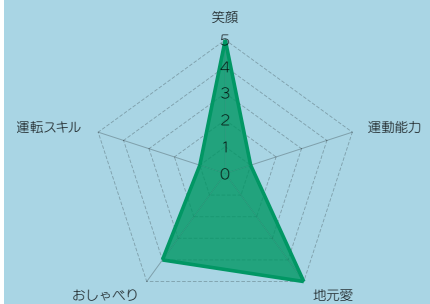
内々定が決まった時の感想

霞ヶ関で働くことを目標に上京してきたので、安堵が一番大きかったです。

文科省を目指す方への

メッセージ

素敵なひとがたくさんいる世界です。自分のやりたいことを信じて、突き詰めてみてください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・行政区分（院卒）
2. 九州大学大学院経済学府経済工学専攻
3. 総務省・厚労省・Sier
4. 教育DX・教育現場における生成AI利活用
5. ピアノサークル・音楽鑑賞/演奏・絵を描く・読書

K. M.

研究テーマ・専門分野

テーマ：日本の書籍産業・音楽チャートにおけるデジタル財の需要に関する実証分析

専門：統計的時系列モデルによる実証研究

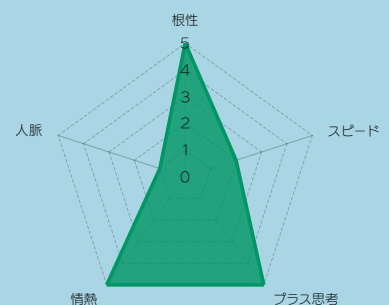
内々定後なにをしていたか

地方住みのため、修論を進めながら上京後の物件探しをしていました。

文科省を目指す方への

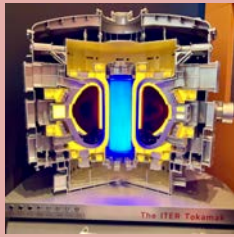
メッセージ

進路選択においては、自身の「できること」よりも「好きなこと」に目を向けるのが大切だと思います。仕事は生活の大半を占めることになる重要な要素です。だからこそ、普段からの関心事と繋がりのある分野で働くことは、自身の人生を豊かにする第一歩になると私は信じています。自身とじっくり向き合って、納得のいく答えを探してください！



内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・工学区分（院卒）

K. Y.

2. 東京科学大学 環境・社会理工学院 融合理工学系

3. 経産省・原子力規制庁・コンサル・重工・研究開発機構

4. フュージョンエネルギー・イノベーション戦略

5. 水泳部・ゲーム/スポーツ観戦・学会の学生連絡会運営

研究テーマ・専門分野

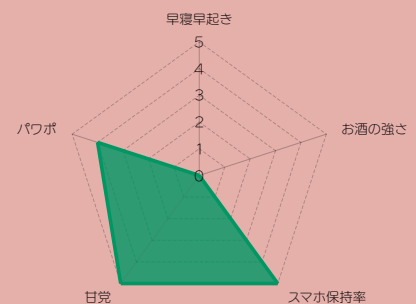
原子力工学を専攻し、液体金属工学の研究室に所属していました。研究テーマは、核融合炉に使われる液体金属冷却材の腐食性からプラント構造材料を保護する保護性酸化被膜の形成と被膜密着性についてです。電子顕微鏡を使用して、髪の毛よりも細いマイクロスケール・ナノスケールの領域で材料組織を分析していました。

文科省に抱いているイメージ

優しい職員さんが多く、人を大切にしようとする雰囲気を感しました。官庁訪問では、相手の良さを引き出そうと関心を持って話を聞いてくれた職員さんが多い印象でした。

文科省を目指す方へのメッセージ

文部科学省には、文科行政への熱い思いを持った方が多く、そうした環境で国の未来を見据えて政策に携われる点に魅力を感じました。皆さんも「なぜ文部科学省なのか？」を言語化して、それを官庁訪問でぶつけてほしいと思います！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・数理科学・物理・地球科学区分（院卒）

K. S.

2. 東京大学数理科学研究科

3. 厚労省

4. 研究支援

5. カレー作り・お酒の開拓

研究テーマ・専門分野

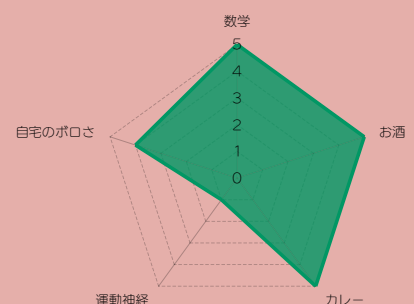
表現論

今後の意気込み

研究をもっと盛り上げたい！

文科省を目指す方へのメッセージ

頑張ってください！



07
内定者プロフィール

1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



K. T.

1. 技術系・化学・生物・薬学区分（院卒）
2. 京都大学大学院 農学研究科 応用生物科学専攻
3. 経済産業省・環境省・独立行政法人
4. 科学技術行政
5. スキューバダイビング・昆虫観察・魚突き

研究テーマ・専門分野

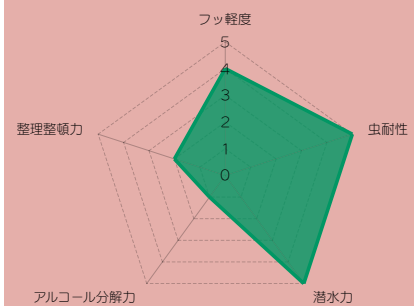
昆虫のゲノム編集、分子生物学

内々定後なにをしていたか

ずっと研究室で昆虫とにらめっこしてました！

文科省を目指す方への
メッセージ

再来年一緒にはたらけることを楽しみにしています！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



G. Y.

1. 技術系・農業科学・水産（院卒）
2. 岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科
3. 農林水産省
4. 産学官連携・宇宙・コンテンツ関連
5. 読書・テニス(軟式)・サッカー

研究テーマ・専門分野

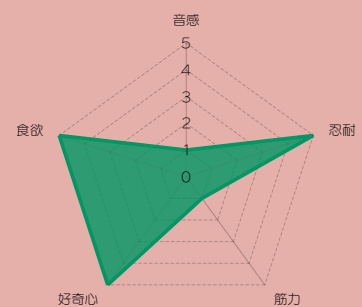
獣医学

内々定後なにをしていたか

東京ディズニーシーに遊びに行った

文科省を目指す方への
メッセージ

自分なりの考えをしっかりと持ってください



07 内定者プロフィール

1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・教養区分（大卒）
- 2.京都大学文学部人文学科
- 3.総務省（ICT）・国土交通省・奈良県庁・インフラ
- 4.文化芸術・生涯学習・地域スポーツ振興
- 5.考古学サークル 史跡・博物館巡り・テニス観戦

K. A.

研究テーマ・専門分野

日本史学を専攻しています。

特に、室町時代後期の南陸奥地方における政治権力と宗教勢力の関係性について研究しています。

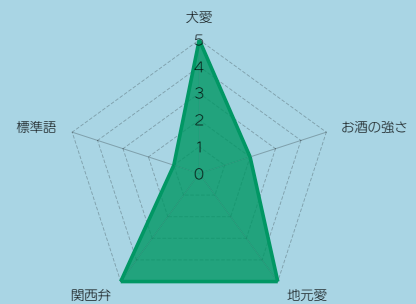
今後の意気込み

様々な困難が今後あるかと思いますが、今抱いている文科行政への想いを忘れず、精進していきます！

文科省を目指す方への

メッセージ

進路選択には悩みがつきものですが、人と対話することは自分のやりたいことを見つけるきっかけの一つになります。文科省に少しでも興味のある方は、ぜひ説明会や職員訪問に参加してみてください。職員の方々との対話を通して自らの思いと向き合うことで、信じる道が見えてくるかもしれません。心から応援しています！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・教養区分（大卒）
- 2.東京大学文学部人文学科
- 3.大学院進学
- 4.特別支援教育・教育課程・文化
- 5.文芸部・農業サークル・教職課程

S. Y.

研究テーマ・専門分野

国文学、特に源氏物語をはじめとする中古の文学を勉強しています。

源氏物語は1000年以上前の作品ですが、今と変わらない人の心や愛の形が繊細に描かれているという点で、とても魅力的だと思います。日々勉強していても分からないことばかりで、本当に奥が深い作品です。

文科省に抱いている

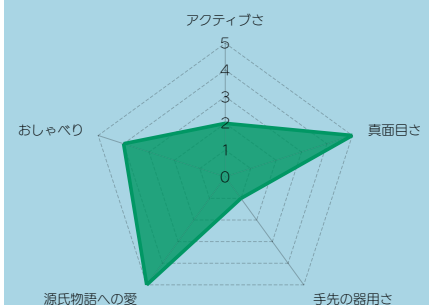
イメージ

穏やかでありつつも熱い思いを持った職員さんが多い印象です。現実と向き合いながらも、理想の未来を目指していく雰囲気があると感じています。

文科省を目指す方への

メッセージ

ありのままの自分を大切にしながら、焦らず進路に向き合うことが納得のいく選択に繋がるのではないかと思います。大変なこともたくさんあるかと思いますが、周りを頼りながらご自身のペースで頑張ってください。みなさまの望む道がひらけることを願っています！



内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・森林・自然環境区分（院卒）

2. 東京農工大学連合農学研究科

3. 林野庁

4. 博士課程/研究支援・アイヌ文化・極地/深海探査・文教施設

5. ジャズバックバンドサークル・読書・ピアノ

S. K.

研究テーマ・専門分野

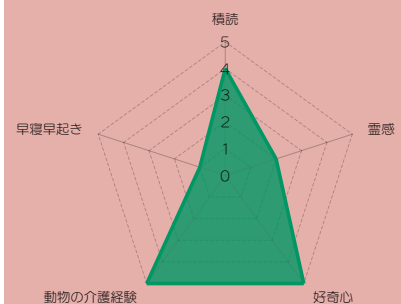
日本の建築物の寿命推定

今後の意気込み

色んな人によって色んな所に
行き、自分の世界を広げた
い。少しでも日本を良くした
い。学びたい人や研究したい
人の力になりたい。

文科省を目指す方へのメッセージ

頑張ってください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・数理学・物理・地球科学区分（院卒）

2. 東京大学大学院理学系研究科物理学専攻

3. なし

4. 量子・半導体・AI時代の高等教育・研究人材育成

5. 草野球・海外で野球を教えるボランティア

S. K.

研究テーマ・専門分野

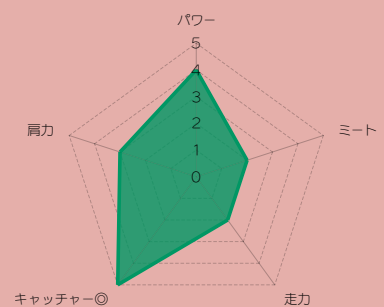
開放量子多体系の理論、(統計力学、量子情報)

文科省に抱いているイメージ

いい人多そう

文科省を目指す方へのメッセージ

文部科学省のことは正直まだ全然わ
からないので助言らしい助言はでき
ないのですが……
博士課程進学は本当におすすめで
す。



07 内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・化学・生物・薬学区分（院卒）
2. 東京科学大学生命理工学院生命理工学系
3. なし
4. 人材育成・ライフサイエンス
5. 生物観察・写真・読書・料理・登山

S. A.

研究テーマ・専門分野

専門は進化発生生物学です。

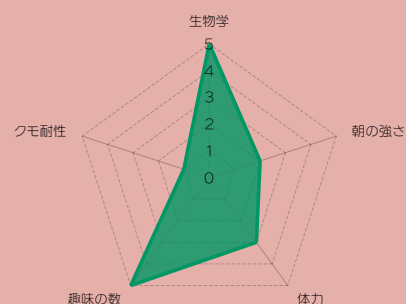
サメや鳥の卵の発生過程を調べることで、生物の形を作る機構がどのように進化してきたのかを研究しています。

内々定後なにをしていたか

在学中に研究成果を論文としてまとめることを目標に、これまで以上に実験に時間を使うようにしていました。また、隙間時間を見つけて学生同士の勉強会などにも積極的に参加するようにしていました。

文科省を目指す方への メッセージ

研究生活で培ってきた思考力や粘り強さは、大きな武器になります。これまでの経験に自信を持って挑戦してみてください。応援しています！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 慶應義塾大学文学部人文社会学科
3. コンサル業界
4. 文化芸術
5. ミュージカル・ピアノ・バレエ・書道

S. M.

研究テーマ・専門分野

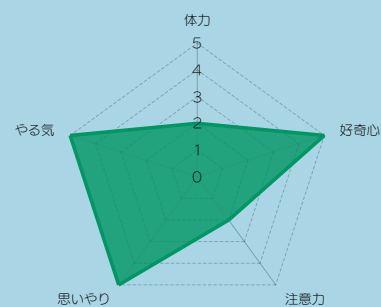
演劇学、アーツマネジメント

内々定後なにをしていたか

夢が叶ったことに心の底から嬉しく思うと同時に、生半可な気持ちでは務まらない仕事だと改めて思い、気が引き締まりました。

文科省を目指す方への メッセージ

文科省の業務説明会が楽しい/興味深いと思う人にとっては、最高の職場だと思います！官庁訪問は精神的に辛いことが多いと思いますが、「好き」や「携わりたい」という気持ちを大切に最後まで乗り切ってください！



07 内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・行政区分（院卒）
2. 東京大学公共政策大学院
3. シンクタンク・コンサル
4. 初等中等教育・高等教育・宇宙・原子力
5. ダンスサークル・アカペラサークル・ランニング、散歩

T. Y.

研究テーマ・専門分野

教育社会学・政治学・教育行政

文科省に抱いている

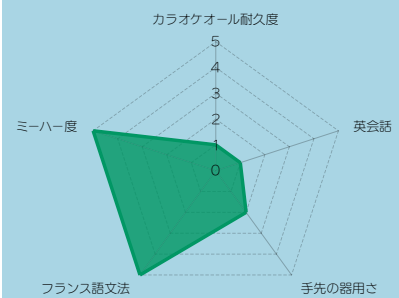
イメージ

自分がやりたいこと（日本全国の教育行政）を、仕事として（生活のためのお金を稼ぎながら）考え実行できる組織

文科省を目指す方への

メッセージ

仕事は人生の中で占める時間が長いので、自分に合ったものを選ぶのがおすすめです！そのためにはまず自己分析をして、自分が何をしたいのか、何に向いているのかをよく知る必要があります。その上で、自分の行きたい組織をいくつかみて、どんな仕事をするところなのか、どんな人が多いのか等を知り、その組織が自分の日々の生活（仕事は生活…）にどんな価値を出せるのか、自分はその組織でどんな価値が出せるのか、を見極めることができると良いと思います。



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・政治・国際・人文区分(A)（大卒）
2. 明治大学政治経済学部地域行政学科
3. デジタル庁・人事院
4. 教育DX・特別支援教育・部活動改革
5. ギターの弾き語り・読書・旅行

N. M.

研究テーマ・専門分野

専門分野は社会教育学です。地域で子どもを育てることについて研究しています。

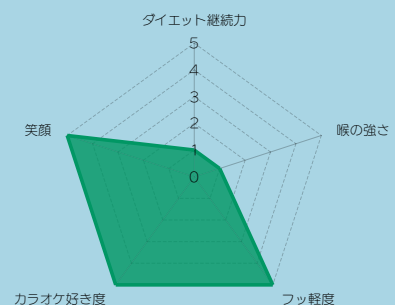
内々定後なにをしていたか

バイトをしてお金を貯めて、そのお金で旅行に行くということを繰り返す生活をしています！

文科省を目指す方への

メッセージ

大変なこともたくさんあるかと思いますが、体調第一でお体を大切に
お過ごしください！



07
内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 早稲田大学教育学部
3. こども家庭庁・内閣府
4. 教育格差・文教施設
5. クイズ研究会・バンド・アニメ

H. K.

研究テーマ・専門分野

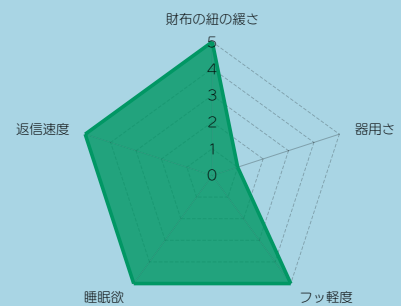
教育的価値のある都市公園の構想

今後の意気込み

やっとたどり着いた夢のスタートライン。どんなに難しくとも常に「現状で何ができるのか？」を考え続けられる職員になりたいです。

文科省を目指す方への
メッセージ

願えば叶います。自分が人生かけて何を果たしたいのか、それだけは忘れずに走りぬいてください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・人間科学区分（大卒）
2. レスター大学大学院博物館学コースMA
3. 内閣府・乃村工藝社
4. 文化と経済・地域文化施設/教育施設・学びの包摂性
5. 政策立案コンテスト運営・学生カンファ運営・ダンス

H. H.

研究テーマ・専門分野

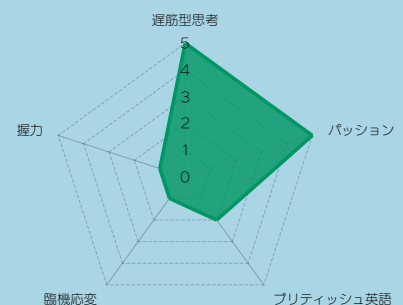
博物館学

文科省に抱いている
イメージ

不易流行

文科省を目指す方への
メッセージ

貴方らしさを大事にしてください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・化学・生物・薬学区分（院卒）
2. 東京科学大学生命理工学院生命理工学系
3. 製薬メーカー・Sier
4. 理系人材育成・特別支援教育
5. チェロ(オーケストラ)・クラシックバレエ

H. K.

研究テーマ・専門分野

進化発生生物学

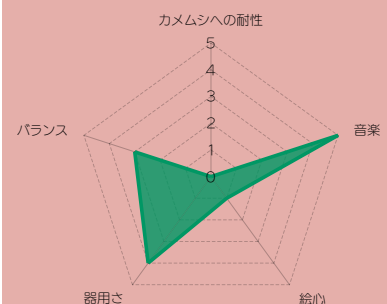
内々定が決まった時の感想

民間でも中々内々定がもらえず、就活が長引いていたので、「やっと終わった」という解放感と安心感が大きかったです。言い渡された瞬間は内々定をもらった実感はあまり湧いていませんでしたが、自分がやりたいと思っていることで内々定をもらえたのはとても嬉しかったです。

文科省を目指す方への

メッセージ

官庁訪問は長丁場で大変ですが、自分の考えてることをぶつけて、深められる貴重な機会です。教育は誰もが受けてきたからこそ、特に教育分野では自分の経験を元に考えを広げやすいと思うので、自分の経験を活かした説得力のある主張を全力でしてみてください！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 東京大学教育学部総合教育科学科
3. 総務省（情報通信）
4. 初等中等教育
5. バンド・弾き語り・映画館に行くこと

H. H.

研究テーマ・専門分野

専門は教育哲学です。卒業論文ではDV加害者に関する研究をしています。

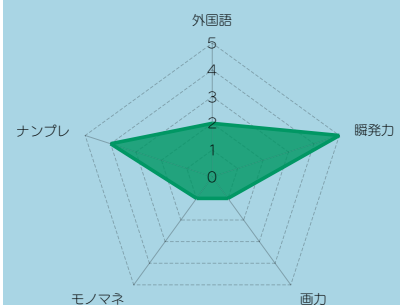
文科省に抱いている イメージ

他の省庁と比べて、情緒豊かで個性的な人が多い印象です！

文科省を目指す方への

メッセージ

いろんなイベントに参加してみると、きっと胸に残る職員さんのお話があるのではないかと思います。自分の心と体を大切にしながら、就活における出会いとコミュニケーションをぜひ楽しんでください。



07
内定者プロフィール

1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



1.事務系・教養区分（大卒）

H. A.

2.筑波大学大学院 人文社会科学研究群 国際公共政策学位

3.総務省(自治分野)・内閣府

4.教育を通じた地域づくり・日本の教育を世界に発信すること

5.サッカーサークル・野球観戦・カフェ巡り

研究テーマ・専門分野

地域コミュニティ研究

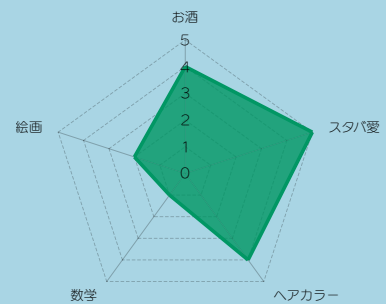
今後の意気込み

これまで教育を学んでこなかった人生なので、全てが学びであり挑戦です。新たな世界に飛び込む高揚感とともに、日本の教育を背負う責任感を感じています。

文科省を目指す方への

メッセージ

文部科学省にはみなさんの人生に影響を与えてくれる素晴らしい方々がたくさんいらっしゃいます。ぜひ足を運んで、話を聞いて、ご自身にとって最良の選択をされてください！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



1.事務系・教養区分（大卒）

H. S.

2.京都大学薬学部薬科学科

3.教育業界

4.教育・科学

5.花火鑑賞・サイクリング

研究テーマ・専門分野

分析化学、分離化学

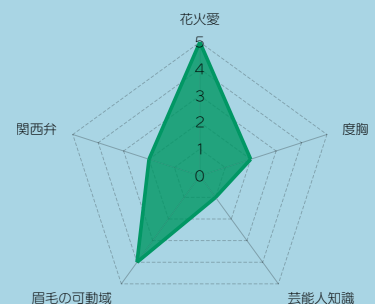
内々定が決まった時の感想

冬の官庁訪問では4名以下という情報以外何人取られるのかわからない、何人訪問されるのかもわからない、わからないことばかりの中で内定をいただけたことが信じられなかった。何が評価されたのか正直わからないところもあった。

文科省を目指す方への

メッセージ

科学、教育、文化、スポーツの4分野を扱う文科省はヒトの未来を考えるとこころだと思っています。1分野のみならず複数分野に興味を持ってくれると嬉しいです。



07 内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・教養区分（大卒）
2. 東京大学経済学部経済学科
3. 金融業界
4. デジタル教育・高等学校教育・産学官連携
5. 競技かるたサークル・子ども向けイベントサークル

M. T.

研究テーマ・専門分野

計量経済学

文科省に抱いている

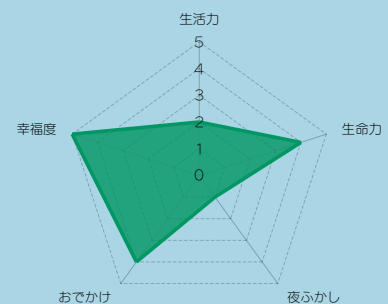
イメージ

人と社会の未来に対して希望と熱意を持っている人が多い省庁というイメージ。教育政策や社会について自分はどうしたいか、それはなぜかを職員の方とたくさんお話しした記憶があります！

文科省を目指す方への

メッセージ

自分のやりたいことや働き方についてはいろいろな選択肢があり、一つの正解はありません。たくさん考えて悩むことが自分の成長と悔いのない選択につながると思います。楽しく自分らしく頑張ってください！応援しています。



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・化学・生物・薬学区分（院卒）
2. 京都大学大学院工学研究科高分子化学専攻
3. なし
4. 科学技術政策
5. バレーボール・スキー・旅行

M. H.

研究テーマ・専門分野

高分子合成

文科省に抱いている

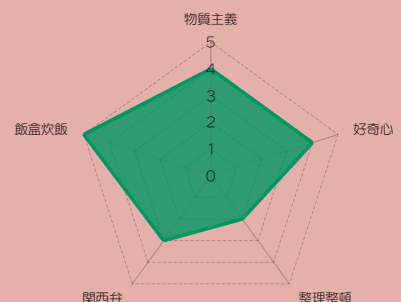
イメージ

教育や科学技術、スポーツから文化まで何かを育て上げて新しい社会に還元するイメージがありました。

文科省を目指す方への

メッセージ

ご興味がある方は色々話を聞く機会があると思いますので、自分に合った場所をゆっくりとお探しになると良いと思います。



07 内定者プロフィール

1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 技術系・人間科学区分（大卒）
2. 東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻
3. 法務省
4. 舞台芸術の発展・セカンドキャリア支援
5. クラシックバレエ・観劇

M. M.

研究テーマ・専門分野

クラシックバレエの回転技に着目して、動作解析とアンケート調査を行っています。

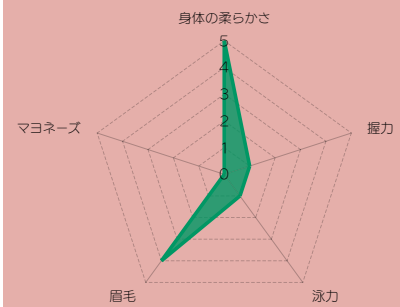
内々定後なにをしていたか

内々定後は、実験と公演に向け
てひたすら踊ってました！

文科省を目指す方への

メッセージ

全力で！悔いのないように！
応援してます！



1. 事務系／技術系・区分（卒） 2. 大学・学部 3. 併願先（府省庁・民間） 4. 現在の関心分野 5. サークル・趣味・ボランティア経験



1. 事務系・行政区分（院卒）
2. 東北大学公共政策大学院
3. 財務省・総務省行政管理・内閣府
4. 特別支援教育・不登校支援
5. カメラ・新聞・ポッチャ 教育系NPO法人・特別支援学級支援

M. I.

研究テーマ・専門分野

修士1年次は家族政策（少子化対策）について共同研究していました。
修士2年次はサービスデザインを主軸とした個人研究に取り組んでいます。

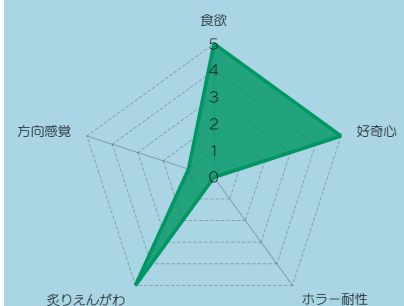
今後の意気込み

知人が出産し、抱きかかえた際、（この子がこれから生きてく上での教育を私は考えていくのだ）と非常に感慨深くなりました。その子をはじめ、今そしてこれから生きるすべての人に誇れるような社会をつくる一助となるべく、先輩職員の皆さんや同期から学びを吸収し成長していきます。

文科省を目指す方への

メッセージ

「就活」という言葉に囚われすぎず、「様々な職員さんや同志と出会い、貴重な学びを得られるなんて、楽しい！」と思いながら取り組んでみてください。その楽しむ姿勢が、自然と色々なご縁を引き寄せてくれると私は思います。心から応援しております！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・工学区分（院卒）
- 2.名古屋大学環境学研究科都市環境学専攻
- 3.国土交通省・デベロッパー
- 4.文教施設・文化芸術
- 5.旅行・写真・猫との戯れ

M. C.

研究テーマ・専門分野

建築計画を専門にしています。「公開空地等の整備と活用における事業者と地域の連携」について、形骸化している現状のオープンスペースを、まちに波及するように作るための知見を探る研究をしています。

文科省に抱いている

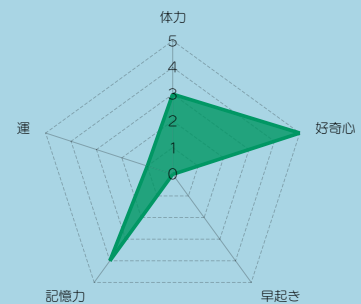
イメージ

「人」のことを好きな人が多い印象です。ソフトを対象とすることが多いからこそ、人同士のつながりやコミュニケーションをより大切にされており、その温かさが職員の方にも滲んでいるように感じます。

文科省を目指す方への

メッセージ

自分の思い描く社会や未来像をしっかりを持つことが大切だと思います。就職活動は長期戦なので、説明会や職員訪問など職員の方とお話しする機会では、ぜひリラックスして楽しんでください。良い就職活動を送れること、応援しています！



1.事務系／技術系・区分（卒） 2.大学・学部 3.併願先（府省庁・民間） 4.現在の関心分野 5.サークル・趣味・ボランティア経験



- 1.事務系・教養区分（大卒）
- 2.中央大学法学部法律学科
- 3.厚生労働省・総務省行政管理/評価分野・物流業界
- 4.教員の働き方改革
- 5.陸上・野球

M. K.

研究テーマ・専門分野

公法

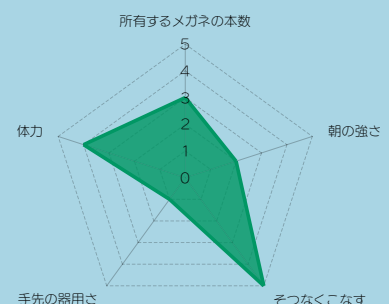
内々定が決まった時の感想

言葉が詰まるほどの驚きがありました

文科省を目指す方への

メッセージ

「楽しい」という気持ちを大事にしたことが自分には合っていたと思っています。自分と向き合いながら、頑張ってください！



「令和7年度版 文部科学省総合職内定者の声」を最後までご覧いただき、ありがとうございます。

自身のキャリアを切り拓く就職活動において、確かな「情報」は重要な武器となります。

実際に内定者が就職活動中に感じた迷いや、座談会を通じて触れた職員の熱意、そしてそれぞれの志といった、数値やデータだけでは見えてこない「生きた情報」に触れることが、納得感のある選択へと繋がります。

本冊子に登場する内定者のバックグラウンドが多岐にわたるのは、文部科学省の所掌範囲が、教育、科学技術・学術、スポーツ、文化と極めて広大であるからに他なりません。こうした多様な個人の集合体であるからこそ、入省にあたって「特定の専門分野」は決して絶対条件ではないのです。

むしろ、自身の専攻という枠に閉じこまることなく、未知の領域に対しても「社会を良くしたい」と手を伸ばせる飽くなき好奇心こそが、正解のない複雑な課題を解決する原動力になると私たちは信じています。

内定者たちの等身大な想いが詰まったこの冊子が、皆様の就職活動を支える確かなリソースとなり、文部科学省という無限のフィールドを志す一助となれば、編集チームとしてこれ以上の喜びはありません。

皆様の真摯な努力が実を結びますことをお祈り申し上げます。
いつか直接お会いし、共に未来を語り合える日を心から楽しみにしております。

『令和7年度版 文部科学省総合職内定者の声』

編集チームメンバー 一同

発行日：2026年3月 初版発行

発行者：令和7年度文部科学省総合職内定者一同

※販売・無断転載禁止※

本冊子は内定者自身の体験を基にして作成したもので、就職活動における文部科学省からの公式見解ではありません。
掲載した内容は、2025年度時点のもので、正確を期しておりますが、誤りがあり読者の方が不利益を被った場合でも、その不利益に関してその一切の責任を負いません。